

## 第2報

平成20年10月23日

### すぐる食品(株)が自主回収を進める「事故米穀の混入の可能性のある製品」を当院の入院給食に使用していた件について(第2報)

高知県立芸陽病院 院長 山下 元司

平成20年9月30日付けの掲示により、すぐる食品(株)がその時点で自主回収を進めていた製品のうち、当院及び安芸病院の入院給食において過去に使用していた製品、その使用量及び使用期間をお知らせしました。

一方、すぐる食品(株)は、農林水産省が9月26日に発表した追加情報を基に社内調査を行い、「島田化学工業(株)から原料を仕入れた4回のうち、事故米穀の混入の可能性が排除できないのは1回分のみである。」とする調査結果を9月29日付けで公表しました。

当院ではこの新たな公表資料を基に再調査を進めてきましたが、その結果、すぐる食品(株)として「事故米穀の混入の可能性が排除できない」とする製品の当院での使用状況は下記の1に示すとおりであることを確認しましたのでお知らせします。なお、前回は当院と安芸病院双方を合計した使用状況の形でお知らせしましたが、この掲示は、追加情報に基づく調査結果のうち、

#### 芸陽病院の入院給食における使用状況

をお知らせするものです。

患者の皆さまに、ご迷惑やご心配をおかけしていますことを改めてお詫び申し上げます。

### 記

#### 1 追加情報に基づく使用量、期間等(芸陽病院分)

「関西風厚焼玉子500」	5,130 (H17年2月～H18年3月)
「こだわりだし巻玉子500」	250 (H17年4月～H17年5月)
「寿厚焼玉子」	144 (H18年の正月のみ使用)

#### 2 前回お知らせした使用量、期間等(芸陽病院分)

「関西風厚焼玉子500」	9,890 (H17年1月～H19年7月)
「こだわりだし巻玉子500」	250 (H17年4月～H17年5月)
「寿厚焼玉子」	608 (H16年から正月に年1回使用)